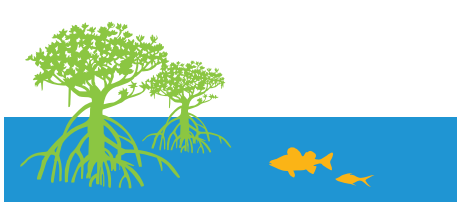


アジア・太平洋地域における海洋保全投資へのファイナンス

アジア・太平洋地域の災害強靱性、食料安全保障や生活は、健全で回復力のある海洋がなければ成り立ちません。健全な海洋は、観光や漁業、養殖を通じて経済にも貢献します。しかし、気候変動、乱獲、汚染や持続性を欠く開発により、私たちの海は崩壊の危機に瀕しています。海を健康を守り、回復させるために必要な資金は不足する一方であり、これに対処するには、グローバル市場の体系的な変化が必要です。ブルー・ボンドは、大規模な解決策に充てる海洋投資に振り向けることのできる資本の量を増やすことで、この変化を促すものです。

ADB ブルー・ボンド

アジア開発銀行(ADB)は、グリーン・ボンドの枠組みを拡大し、海洋保全を目的とする投資を追加しました。新たなグリーン&ブルー・ボンド・フレームワークでは、この新たな重要市場における投資家の信頼と透明性を確保するために、厳格な科学的アプローチを採用しています。このフレームワークは、国際資本市場協会の「グリーン・ボンド原則」と、国連環境計画ファイナンス・イニシアティブの「持続可能なブルー・エコノミー・ファイナンス原則」の両方に準拠しています。ADBは、海の健全性に影響を与えるさまざまなセクターや経済活動に投資するための独自のブルー・ボンドを発行します。投資対象には下記が含まれます。



海洋・沿岸生態系の管理と修復:

- 生態系管理と自然資源の回復。沿岸、海洋、河川の生態系の健全性と気候・災害耐性を持続的に管理、保護し、または復元するプロジェクト。プロジェクトは海に注ぐ川または海洋環境の中に位置するか、海岸から100km以内になければならない
- 持続可能な漁業管理。漁業や水産バリュー・チェーンの環境面での持続可能性を向上させるプロジェクト
- 持続可能な水産養殖。水産養殖、海洋牧場、藻類養殖などの環境の持続可能性を向上させるプロジェクト



海洋汚染の防止:

- 固形廃棄物の管理。海洋のゴミを削減し、またはそれに伴う海洋生物への影響を低減するプロジェクト。プロジェクトは海岸または海に注ぐ川から50km以内になければならない
- 資源効率と循環経済。海洋のゴミを削減し、またはそれに伴う海洋生物への影響を低減するプロジェクト
- 非点源汚染。沿岸・海洋環境の汚染(栄養素、堆積物、化学物質など)を低減するプロジェクト。プロジェクトは海岸から200km以内または海に注ぐ川(およびその支流)から50km以内になければならない
- 廃水管理。沿岸・海洋環境の廃水汚染を低減するプロジェクト。プロジェクトは海岸または海洋環境から100km以内になければならない



持続可能な沿岸・海洋開発:

- 港および海運。海洋インフラと海運の環境面でのパフォーマンスと持続可能性を向上させるプロジェクト(船舶衝突、侵入種、汚染、その他の海の健全性への影響の軽減と緩和など)
- 海洋再生可能エネルギー。温室効果ガスの排出量を削減し、海洋および海上の再生可能エネルギー(海上の風・潮汐・波、海洋熱エネルギーなど)の貢献度を高めるプロジェクトや、ブルー・エコノミー・セクター(水産養殖や漁業など)における再生可能エネルギープロジェクト。海洋ベースのソリューションと技術を利用して、温室効果ガスの回収・貯留を増やす。

ADBのブルー・ボンド・プロジェクトの例

モルジブ・マレ首都圏廃棄物発電プロジェクト

ADBの融資:7,300万ドル
ブルー・ボンド・ファイナンス:100%

マレ首都圏とその周辺の離島では、固形廃棄物の回収や処理が不十分であるために、深刻な環境汚染や生活環境の悪化が問題になっています。本事業の対象地域では1日あたり836トン(2019年)の固形廃棄物が発生し、これを管理する持続可能なシステムがないため、廃棄物が海に流されたり、ゴミが不法に廃棄・焼却されるなど、公衆衛生・環境面で深刻な危険が生じています。

本事業の対象地域は、マレ首都圏と人が住む32の離島と86の観光リゾートを含み、その人口は29万5,000人(モルジブの全人口の53%)に上ります。

本事業の主な成果は、マレ首都圏と離島における固形廃棄物処理の改善です。本事業では、災害・気候耐性に優れた地域廃棄物管理施設を整備し、廃棄物の削減、再利用、リサイクルおよび廃棄物発電に関する組織能力と公共意識の改善を図ります。本事業(総事業費1億5,100万ドル)には、モルジブ政府、アジアインフラ投資銀行および二国間クレジット制度日本基金から協調融資が提供されます。

2027年までの目標とされる効果

- 対象地域内の自治体や商業施設から出る可燃性固形廃棄物の80%以上を処理し、残りは安全に廃棄またはリサイクルする
- CO₂換算で年間2万8,000トンの温室効果ガスを削減
- 廃棄物発電施設が年間5メガワット時以上の電力を発電する(うち50%は再生可能エネルギー)



ティラフシ工場のコンセプト設計。写真はADBによる。

域内:インドラマ・ベンチャーズ ブルー・ローン・プロジェクト

ADBの融資:5,000万ドル
ブルー・ボンド・ファイナンス:3,750万ドル



分別施設。写真はIndorama Venturesによる。

海のプラスチック汚染は、複数のセクターにまたがる複雑な問題です。主な原因としては、残存価値が低く、使い捨てで、分解しないプラスチックが大量にあること、固形廃棄物管理の効率が悪いこと、そしてリサイクルのシステムが不十分であることが挙げられます。従来の「資源の投入・生産・廃棄(take, make, dispose)」モデルから、製品や材料を再設計・回収・再利用して、プラスチック廃棄物が埋立地や海に捨てられないようにする循環型経済に移行する必要があります。

本事業は、インド、インドネシア、フィリピン、タイにおける インドラマ・ベンチャーズ・グループ(IVG)のプラスチック・リサイクル工場の能力を増強するとともに、雇用を創出し、温室効果ガスを削減することにより、プラスチックの環境負荷を低減し、循環型経済への移行を促進することを目的としています。

再生ポリエチレンテレフタレート(rPET)の製造コストはバージンPETに比べて高いにもかかわらず、グローバルな食品・飲料メーカーが欧州連合の規制に準拠するべく包装中の再生プラスチック含有量を増やすことを公約しているため、rPETに対する需要が高まっています。これらのグローバル・メーカーは、IVGなどの包装材料サプライヤーにrPETの使用を義務づけています。IVGは様々なグローバル・メーカーと長期的かつ強固な取引関係を築いており、エレン・マッカーサー財団が主導するプラスチック包装の循環性を高めるイニシアティブ、「ニュー・プラスチック・エコノミー」に参加しています。その目的を達成するため、IVGは2025年までに75万トンの使用済みペットボトルをリサイクルすることを目指しています。IVGはボトルからボトルへのリサイクルに求められる基準を満たすrPETを生産する先端技術を有しており、これをADBの開発途上加盟国に移転することができます。

目標とされる効果

- インド、インドネシア、フィリピン、タイで、rPETから生産されるPET、あるいはポリスチレンスルホン酸ナトリウム(SPS)樹脂もしくはペレットが増加
- 融資対象となるリサイクル工場での直接雇用の創出

安徽省黄山新安江生態系保全・グリーン開発プロジェクト

ADBの融資: 1億ドル
ブルー・ボンド・ファイナンス: 5,500万ドル

長江経済ベルトは、中国の経済成長の原動力となる3つの重点地域の1つです。ここに含まれる9つの省と2つの直轄市は、国の人口の40%以上、淡水資源の40%、経済生産の約45%を占めています。

長江経済ベルトでは、1980年代後半以降の高成長の恩恵を受けつつも、環境汚染の増加や自然資源への圧力の高まり、環境に優しい(グリーンな)開発モデルへの移行の遅れ、水路、港湾、複合一貫輸送による物流の統合が進んでいないことや、戦略的計画のための組織調整の不備など、開発上の大きな課題に直面しています。本事業では、生態系の保全とグリーンな開発を促進するため、都市部における点源水汚染の管理について国際的なベスト・プラクティスを確立・適用し、農業に起因する非点源水汚染の管理を改善するための新たな資金調達メカニズムを導入し、そして環境に優しい中小企業パイロット事業を通じて農村部におけるグリーンな開発を推進します。

上流での汚染が軽減されれば、杭州湾を経て太平洋の一部に注ぐ下流域にも便益がもたらされます。

目標とされる効果:

- 5,000ヘクタールの農地が農薬・肥料の使用を抑制する環境保全型農法に移行する
- 548ヘクタールの農地で環境保全型農法が採用される
- 280万ユーロの持続可能なグリーン・インセンティブ基金が設立され、4,500の農家(うち40%を女性とする)に補償金が供与される



中国の長江。写真はADBによる

ADBの海洋保全行動計画

ADBは「海洋保全と持続可能なブルー・エコノミーのための行動計画」を2019年に発表し、2024年までに関連する投資と技術協力を50億ドルに拡大するという目標を掲げました。行動計画では、海洋保全と持続可能な海洋経済を達成するための重要な課題に取り組む上で、以下の3つの優先事項を規定しています。



重要な海洋生物の生息地および種の保護と回復



海洋汚染の低減



ブルー・エコノミーの構築

アジア・太平洋地域におけるADBの投資を支援するパートナーは、世界全体にポジティブな影響を与えることができます。アジア・太平洋地域は、世界の水産養殖と漁業の大半を占めており、人口の増加に伴い海産物に対する需要が増加すると予測されています。

同地域は世界の海洋生物多様性の多くを担っている一方、海洋プラスチック汚染の中心地でもあります。適切な支援があれば、アジア・太平洋地域のブルー・エコノミーは世界の環境面での持続可能性を向上させる可能性を秘めています。

注:「ドル」は米ドルを意味します。

行動のためのパートナーシップ

ADBは、開発途上加盟国において海洋保全と持続可能なブルー・エコノミーを実現するため、触媒の役割を果たすパートナーシップを積極的に模索しています。ADBと提携することで、パートナーは以下が可能になります。



ADBの開発途上加盟国30カ国のプロジェクトを支援



ADBのプロジェクト、プログラムやイベントを通じて、知識、技術、イノベーションを移転



プログラム策定にかかる時間の短縮、取引費用の削減、資金調達規模の拡大

ADB

アジア開発銀行

ADBは、極度の貧困の撲滅に努めるとともに、豊かでインクルーシブ、気候変動や災害等のショックに強靱で持続可能なアジア・太平洋地域の実現に向け取り組んでいます。ADBは1966年に創設され、49の域内加盟国・地域を含め68の加盟国・地域によって構成されています。開発途上加盟国の支援にあたり、政策対話、融資、出資、保証、無償援助、技術協力などがADBの主な支援手段となっています。

©アジア開発銀行 | ARM210418-3 | 2021年9月

お問い合わせ

アジア開発銀行
財務部資金調達課
6 ADB Avenue, Mandaluyong City
1550 Metro Manila, Philippines
電子メール capitalmarkets@adb.org
ウェブサイト www.adb.org/investors
電話 +63 2 8683 1204
番号 +63 2 8632 4120